

ロシア地域学科

3年生 シラバス

目次

実務経験のある 教員	科目名	担当者名	ページ
☆	実用ロシア語会話	イリイナ・タチヤーナ	1
☆	実用ロシア語文法	イリイン・ロマン	2
	ロシア語演習（前期）	イリイナ・ソフィア	3
	ロシア語演習（後期）	スレイメノヴァ・アイーダ	4
	ロシア語講読（前期）	倉田 有佳	5
	ロシア語講読（後期）	イリイン・ロマン	6
	通訳翻訳演習	イリイン・セルゲイ	7
☆	英語	鳥飼 やよい	8
	ロシア国家政治体制	グラチェンコフ・アンドレイ	9
	ロシア経済	グラチェンコフ・アンドレイ	10
	ロシア史	グラチェンコフ・アンドレイ	11
	ロシア文学史	スレイメノヴァ・アイーダ	12
	数学	井上 俊一	13
	体育	小林 礼	14
	論文作成	倉田 有佳	15

科目名	実用ロシア語会話	担当教員	イリイナ・タチヤーナ
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（16週）・後期（7週）		
時間数	前期64時間（週2コマ）、後期28時間（週2コマ） 総92時間		
授業概要・学習到達到達目標			
会話パターンを正確に理解して、多くの語彙を学び、自分の考えをロシア語で話すことができるようにする。			
評価方法			
テキストの暗記とテスト。試験、小テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1～5	第12課 《カフェで》/《リューバの夢》 造格
6～10	《レストランのメニュー》/《料理の注文》 人称代名詞
11～15	《レストランでの会話》 形容詞の造格
16～20	《正しい結論》 мог を使った会話/不完了完了体の作り方
21～24	《私の1週間》 文法 未来形について
25～27	《3人の教え子》テキストに基づいての質問と会話
28～30	《北ロシア地方》 テキストを読む練習 語彙を覚える練習
31	《北ロシア地方2》 前置詞の復習
32	まとめ テスト
【後期】	
1～2	第13課 運動の動詞 идти-ехать, пойти-поехать. 会話与格：動詞の間接補語と方向. 会話
3～4	《教授と女子学生》《ペーチャの誕生日》/練習問題
5～6	《ボリショイ劇場について》/テキストの練習問題 時間の表し方、時間についての質問
7～8	《初めてのボリショイ劇場オペラ観劇》/テキストの練習問題
9～10	《種子》/テキストの練習問題
11～12	《診療所》/ テキストの練習問題
13	《ロシアの偉大な外科医の N .I. ピロゴフ》/練習問題
14	復習 まとめ
教科書・参考書・資料・参考文献	
ロシア語の新しい習い方 第2部（ズラトウスト）。配布プリント	

科目名	実用ロシア語文法	担当教員	イリイン・ロマン
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（16週）・後期（7週）		
時間数	前期64時間（週2コマ）・後期28時間（週2コマ）総92時間		
授業概要・学習到達目標			
新たな文法の習得に加え、「話す」「読む」「書く」「聞く」の4つのスキル習得のため、既習の文法を効率的に運用する基礎作りをする。中級文法をおさえて上級文法に備える。			
学習上の留意点			
学習者は文法がロシア言語体系の大事な構成部分であることを理解した上 それは音声・語・形態論・措辞論への入り口であることを把握せねばならぬ。文法の知識はロシア語文章を読むことと繋がり文章の内容を日本語に訳す練習にもなる。			
評価方法			
試験、小テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス
2～5	第13課 【運動動詞の用法】 不完了体 ИДТИ, ЕХАТЬ と完了体 ПОЙТИ, ПОЕХАТЬ の現在形と未来形。ПРИЙТИ, ПРИЕХАТЬ の用法 так(ой)、настолько, до того ..., что...の文
6～10	【与格】 ПРИНЕСТИ, ПРИВЕСТИ, ПРИВЕЗТИ の違いと用法。人称・再帰代名詞の与格。形容詞、順序数詞、物主代名詞の与格。状態、年齢の与格
11～13	与格【無人称の文】 天気、寒暖の感覚、時間、日付等の表現 与格のニュアンス：ПАМЯТНИК ПУШКИНУ
14～16	【与格】 必要性：НУЖНЫЙ, НУЖЕН, НУЖНО-НЕОБХОДИМЫЙ, НЕОБХОДИМ, НЕОБХОДИМО
17～19	動作の開始、終了、結果の表現との関係。 連続する動作 複数動作の結果 А動作の終わり と В動作の始まり А動作の結果による状態。動詞 СТАТЬ, ПОЙТИ, ПОЕХАТЬ, СЕСТЬ 動作の繰り返し vs. 一回限りの動作
20～22	第14課【主部と述部】 主語・補語の関係・その逆転。【主部と述部】 時制との関係
23～25	主部と述部【BE動詞、СТАНОВИТЬСЯ、СЧИТАТЬСЯ、ПОКАЗАТЬСЯ、ОКАЗАТЬСЯ、БЫТЬ vs СТАТЬ、СТАТЬ vs ПЕРЕСТАТЬ 等の動詞と造格
26～28	【人称文と不定人称文】 要望、可能性、必然性等の叙法（モード）による主語・述語の変形（造格の用法）
29～30	理由の表現
31～32	まとめ、テスト
【後期】	
1～7	【否定表現】 二重否定 НИ... НЕТ 【前置詞】 原因と結果：БЛАГОДАРЯ と ИЗ-ЗА
8～12	【主部と述部】 同意構造の様々 ЕСТЬ, ПРЕДСТАВЛЯТЬ СОБОЙ vs ЗВАТЬ-НАЗЫВАТЬ, НАЗЫВАТЬСЯ 等の動詞とともに
13～14	まとめ、テスト
教科書・参考書・資料・参考文献	
ロシア語の新しい習い方 第2部（ズラトウスト）。配布プリント	

科目名	ロシア語演習	担当教員	イリイナ・ソフィア
学 科	ロシア地域学科	学年	第3学年
開講期	前期（16週）		
時間数	前期32時間（週1コマ） 総32時間		
授業概要・学習到達目標			
様々な場面でのロシア語会話を、正しく聞き取れるようにする。			
学習上の留意点			
ロシア語会話での十分な聴き取りができるようにする。 ロシア語を正しく発音できるようにする。 会話中の発音から疑問・質問か、あるいは単なる意見であるのか、その違いを理解できるようにする。			
評価方法			
前期期末試験			

授業計画・内容	
【前期】	
1	第13課 «Профессор и студентка».
2	第13課 «У Пети день рождения».
3～5	第13課«Немного о Малом театре». «Немного о Большом театре». «Немного о Молодёжном театре».
6	第13課 «Первый раз в Большом театре на опере».
7～8	第13課 «Косточка».
9	第13課 «Великий русский хирург Н.И. Пирогов».
10	第14課 «Семья М.Ю. Лермонтова».
11	第14課 «Литературный критик В.Г. Белинский».
12	第14課 «Современные Ромео и Джульетта».
13	第14課 «Молодые специалисты».
14～15	第14課 «Лермонтов в Московском университете».
16	第14課 «Из истории философии».
教科書・参考書・資料・参考文献	
「ロシア語の新しい習い方」（第2部）ズラトウスト出版社・2000年発行	

科目名	ロシア語演習	担当教員	スレイメノヴァ・アイダ
学 科	ロシア地域学科	学年	第3学年
開講期	後期（7週）		
時間数	後期14時間（週1コマ） 総14時間		
授業概要・学習到達目標			
様々な場面でのロシア語会話を、正しく聞き取れるようにする。			
学習上の留意点			
ロシア語会話での十分な聴き取りができるようにする。 ロシア語を正しく発音できるようにする。 会話中の発音から疑問・質問か、あるいは単なる意見であるのか、その違いを理解できるようにする。			
評価方法			
期末試験			

授業計画・内容	
【後期】	
1	前期 復習
3～7	第15課
教科書・参考書・資料・参考文献	
「ロシア語の新しい習い方」（第2部）ズラトウスト出版社・2000年発行	

科目名	ロシア語講読（前期）	担当教員	倉田 有佳
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（16週）		
時間数	前期64時間（週2コマ） 総64時間		
授業概要・学習到達目標			
<p>①ロシア語から直訳するのではなく、意味を理解した上で、論理的かつ美しい日本語で表現する力を身に着けることを目指す。</p> <p>②自らの興味関心こそが、困難な翻訳と向き合う大きな動機付けとなると考える。そのため、各自が自ら選び出した教材に取り組む。</p> <p>③三年次の学年論文のテーマ（文学関連）に関係したロシア語史料・文献の和訳に取り組む。</p>			
学習上の留意点			
受け身ではなく、自発的かつ意識的に授業に参加すること。			
評価方法			
出席（40%）授業態度（20%）試験（40%）			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス
2～10	簡易なロシア語の文章を美しい日本語に翻訳する。
11～21	各自が関心あるテーマから教材を選び出し、翻訳に取り組む。
22～31	学年論文（テーマ文学）に関連したロシア語の参考文献を探し出し、和訳に取り組む。
32	まとめ
教科書・参考書・資料・参考文献	
適当な参考書や各自の関心のある資料を授業に合わせて使用する。	

科目名	ロシア語講読	担当教員	イリイン・ロマン
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	後期（7週）		
時間数	後期14時間（週1コマ）		
授業概要・学習到達目標			
現代ロシアの経済・ビジネス・政治・社会の様々なテーマに関して、まとまったテキストとニュースサイトの記事を正確に理解し、語彙の増強とともに、コミュニケーション能力育成の観点から、内容に関する質疑応答ができ、ロシア語力を向上させることを目指す。			
学習上の留意点			
1. テキストの読解を意識して授業を進める。 2. 新しい語彙・文法を使いつつ、質問事項には自分の意見を盛り込んで答えること。			
評価方法			
試験、出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
【後期】	
1～2	テキスト1《証券取引所》テキストの練習問題 ニュース記事のテーマ1【内政】
3	ニュース記事のテーマ2【外交・国際関係】
4～5	テキスト2《ビッグマック指数》テキストの練習問題 ニュース記事のテーマ3【経済・産業】
6～7	テキスト3《所帯持ち学生》テキストの練習問題 ニュース記事のテーマ4【軍事・国防】
教科書・参考書・資料・参考文献	
1. ロジムキナ他著「ロシア：経済と社会」ズラトウスト社発行、2007年 2. ロジムキナ他著「ロシアの日々」ズラトウスト社発行、2009年 3. 加藤栄一「時事ロシア語」東洋書店、2014年	

科目名	通訳翻訳演習	担当教員	イリイン・セルゲイ
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（16週）、後期（7週）		
時間数	前期96時間（週3コマ）、後期28時間（週2コマ） 総124時間		
授業概要・学習到達目標			
十分な露訳と簡単な和訳ができるようになる。			
学習上の留意点			
授業は教科書にそって進めるので教科書を必ず持つてくること。 授業で積極的な態度を示すこと。 学習したことを自宅で十分復習すること。			
評価方法			
評価は各期末の計2回の成績の平均とする。各期の合格点は60点以上である。 各期の評価は小テスト20%と試験の80%とする			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス、第1課
2～4 6	第2課～第14課 第14課 Акира Куросава ※各課終了後、作文のトレーニングをする。
4 7	第19課 日本人の結婚観
4 8	まとめ、試験
【後期】	
1～2	第22課 День совершеннолетия 、作文トレーニング
3～4	第15課 Чему и как учат в школе 作文トレーニング
5～6	第16課 長野オリンピック 作文トレーニング
7～8	第17課 アルバイト 作文トレーニング
9～10	第18課 Современное состояние российско-японский экономических отношений 作文トレーニング
11～12	第20課 Всемирный календарь будущего 作文トレーニング
13～14	第21課 Письмо Татьяны из Москвы 作文トレーニング
教科書・参考書・資料・参考文献	
教科書：1. イリイン著「通訳論」ロシア極東国立総合大学2006年 そのほか、適宜プリントを配布する	

科目名	英語	担当教員	鳥飼やよい
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（16週）・後期（7週）		
時間数	前期64時間（週2コマ）・後期28時間（週2コマ） 総92時間		
授業概要・学習到達到達目標			
大学生にとって必要な総合的な英語力をつける。そのために、現代的なテーマを取り上げた講義、インタビュー、プレゼンテーション等の英文を題材とし、聴き取る力、読解力、語彙力、大意を把握する力を養う。また各ユニットの関連テーマについてプレゼンテーションを行う。			
評価方法			
出席 10%、課題提出 20%、テスト 40%、学期末試験 30%とし、最終評価は総合点から以下のように決まる。5(88-100%) 4(75-87%) 33(60-74%) 不合格(60%未満)			

授業計画・内容	
【前期】	
1-2	Chapter 8 Tastes and Preferences Introduction, Cultural Studies
3-4	Listening for Conversation
5-6	Speaking: Talking about likes and dislikes, Talking about fads, Expressing approval and disapproval
7-8	Radio Interview “Generation Y” Pre-Listening Exercises
9-10	Radio Interview “Generation Y” Listening
11-12	Radio Interview “Generation Y” Comprehension
13-14	Radio Interview “Generation Y” Phrase Reading Exercises
15-16	TEST, Presentation “Characteristics of Generation XX”
17-18	Chapter 9 New Frontiers Introduction, Cultural Studies
19-20	Listening for Conversation
21-22	Speaking: Talking about “smart houses”, Giving surprising information, Expressing interest or surprise
23-24	Lecture “Facial Recognition Software” Pre-Listening Exercises
25-26	Lecture “Facial Recognition Software” Listening
27-28	Lecture “Facial Recognition Software” Comprehension
29-30	Lecture “Facial Recognition Software” Phrase Reading Exercises
31-32	Presentation “Technological Trend”, Review for the Final
【後期】	
1-2	Chapter 10 Ceremonies Introduction, Cultural Studies
3-4	Listening for Conversation
5-6	Speaking: offering, accepting, declining, Affirmative tag questions, Offering congratulations and sympathy
7-8	Lecture “Water in Traditional Ceremonies” Pre-Listening Exercises
9-10	Lecture “Water in Traditional Ceremonies” Listening
11-12	Lecture “Water in Traditional Ceremonies” Comprehension
13-14	Lecture “Water in Traditional Ceremonies” Phrase Reading Exercises, Review for Final
教科書・参考書・資料・参考文献	
INTERACTIONS 2 Listening/Speaking 6th Edition, Judith Tanka/Lida R. Baker, McGraw-Hill, New York, 2014	

科目名	ロシア国家政治体制	担当教員	グラチェンコフ・アンドレイ
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（16週）・後期（7週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）・後期14時間（週1コマ）総46時間		
授業概要・学習到達到達目標			
国家体制、政治制度などの様々な分野について現在ロシアを研究するために必要な基礎的知識を習得する。			
評価方法			
期末に行う筆記試験の成績に出席を加味します。筆記試験は、自筆ノート、配布プリントの持込可。			

授業計画・内容			
【前期】		【後期】	
1	政治学とは	基本的概念：政治体制、政治制度、単一国家・連邦国家等	政治文化とは何か ロシアの政治文化学入門
2	連邦国家1	ロシア連邦の構成主体：共和国、自治管区、州その他	旧ソ連政治文化1 ソビエト政権の最初政治制度の特徴と政治文化
3	連邦国家2	権限分配と連邦条約	旧ソ連政治文化2 スターリン独裁と政治制度の変動
4	連邦国家3	自治権と自治制度	旧ソ連政治文化3 60年代、ソ連の政治制度と政治文化
5	国家最高機関1	ロシア議会：下院	旧ソ連政治文化4 80年代、ソ連政治文化の変化と政治制度の変動
6	国家最高機関2	ロシア議会：下院議員特権とロピスト活動	現在ロシア政治文化1 現在ロシアの政治文化：政策決定過程と圧力団体
7	国家最高機関3	ロシア議会：下院	現在ロシア政治文化2 現在ロシアの政治文化：民主主義のコストと政治資金
8	国家元首1	ロシア連邦大統領とその期限	
9	国家元首2	大統領と下院間の関係	
10	行政機関	連邦政府の構成	
11	選挙制度1	下院議員の選挙戦	
12	選挙制度2	大統領や知事の選挙戦	
13	政党制度	政党とは何か、政党制類型、ロシアの主な政党	
14	裁判制度1	最高裁判、憲法裁判、仲裁裁判、その機能と権限	
15	裁判制度2	国営裁判と陪審裁判 民事・刑事裁判	
16	政治学とは	基本的概念：政治体制、政治制度、単一国家・連邦国家等	
教科書・参考書・資料・参考文献			
教科書は使用しない。適当な参考書を授業に合わせて説明する。			

科目名	ロシア経済	担当教員	グラチェンコフ・アンドレイ
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（16週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）総32時間		
授業概要・学習到達到達目標			
ロシアの経済発展を支える経済活動についてマクロ的な観点から国内総生産構造や産業構造や貿易構造等を分析し、今後ロシア経済がどの方向に進もうとしているかを展望することを目標とする。			
評価方法			
期末に行う筆記試験の成績に出席を加味します。筆記試験は、自筆ノート、配布プリントの持込可。			

授業計画・内容	
1	ガイダンス
2	ロシア経済の特徴1
3	ロシア経済の特徴2
4	ロシア経済の特徴3
5	ロシア経済の特徴4
6	主要産業部門1
7	主要産業部門2
8	主要産業部門3
9	主要産業部門4
10	農業問題1
11	農業問題2
12	漁業問題
13	鉄道問題
14	対外貿易1
15	対外貿易2
16	対外貿易2
教科書・参考書・資料・参考文献	
授業は特定の教科書を使用せずに講義方式で進めます。理解を助けるために板書を多く用いますが、更にパワーポイント等の視覚教材で説明を補います。また、各項目が終わるごとに重要事項と語彙をまとめたプリントを配布します。	

科目名	ロシア史	担当教員	グラチェンコフ・アンドレイ
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（16週）・後期（7週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）、後期14時間（週1コマ）総46時間		
授業概要・学習到達到達目標			
ロシアの経済発展を支える経済活動についてマクロ的な観点から国内総生産構造や産業構造や貿易構造等を分析し、今後ロシア経済がどの方向に進もうとしているかを展望することを目標とする。			
評価方法			
期末に行う筆記試験の成績に出席を加味します。筆記試験は、自筆ノート、配布プリントの持込可。			

授業計画・内容				
【前期】		【後期】		
1	イントロダクション	1	封建分離制	
2	キエフ国家成立	2	封建分離制	
3		3	統一国家形成	
4		4	モスクワ国家の危機	
5		5	17世紀の経済・社会問題	
6		6	17世紀のモスクワ国家と周辺諸国	
7		7	17世紀のモスクワ国家と周辺諸国	
8		キエフ国家解体		
9	キエフ大公と諸公間関係、大公位を巡る戦い			
10	キエフとノヴゴロド、北方ルーシの特徴性			
11	ヤロスラフ賢公とルーシ法典			
12	ウラジーミル・モノマフの政治			
13	ウラジーミル・スズダリ公国の台頭とキエフ公国の意義の低下			
14	キエフ・ルーシの封建制の独特性			
15	西方と東方の間に			
16				キリスト教の分裂、十字軍の始まり ビザンティン帝国の滅亡と北方十字軍の始まり チンギス・ハンの登場とモンゴル勢力
教科書・参考書・資料・参考文献				
教科書は使用しない。適当な参考書を授業に合わせて説明する。				

科目名	ロシア文学史	担当教員	スレイメノヴァ・アイダ
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（16週）、後期（7週）		
時間数	前期32時間（1コマ）、後期（14時間） 総46時間		
授業概要・学習到達到達目標			
ロシア文学の社会諸問題への関心、国民性、知識人の使命、作家の受難、ロシア人の文学への信頼などに注意の重点を置く。授業は教科書（PDF ファイルの電子資料；プリント）に沿って進めるので教科書（プリント）を必ずもってくる。授業で積極的な態度を表すこと。授業の最後にメモを書くこと。習ったことを自宅で少しでも復習すること。			
評価方法			
ロシア文学の社会諸問題への関心、国民性、知識人の使命、作家の受難、ロシア人の文学への信頼などに注意の重点を置く。授業は教科書（PDF ファイルの電子資料；プリント）に沿って進めるので教科書（プリント）を必ずもってくる。授業で積極的な態度を表すこと。授業の最後にメモを書くこと。習ったことを自宅で少しでも復習すること。			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス。19世紀後半の文化状態（政治、経済の維新、ナロドニキ運動）。「平民」の詩人：ネクラソフ。
2-7	ドストエフスキーの人生と作品。世界文学の意義。ドストエフスキーの『罪と罰』、『カラマゾフ兄弟』、『白雉』、ドストエフスキーの文体の分析。
8-13	トルストイの意義と世界文学への影響。『戦争と平和』『アンナ・カレーニナ』の分析。
13-16	チェーホフの散文：ロシア文学の新しい段階であった『ワーニカ』『犬を連れる奥さん』『大草原』等。紀行文『サハリン島』。
【後期】	
1-3	チェーホフの劇作：新劇場の作品であった『桜の園』『三人姉妹』『かもめ』『桜の園』。
4-5	ゴーリキーの人生と作品。散文詩、散文（『幼年時代』『我が大学』『母』）、劇作（『どん底』）。
6-7	19世紀末～20世紀の詩壇。象徴主義（ブロークの作品）；まとめ、復習。
教科書・参考書・資料・参考文献	
各著者の原作からの抜粋（PDF ファイルの電子資料；プレゼンテーション；随時プリント類）	

科目名	数学	担当教員	井上 俊一
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（16週）		
時間数	前期32時間（1コマ） 総32時間		
授業概要・学習到達到達目標			
微分積分及び確率に関する基本的知識を、日常生活の中でどのような使われ方をしているのかを excel を活用して理解につとめる。			
学習上の留意点			
1 高校で履修した確率に関する内容を excel を用いて体系的な理解が図れるようにする 2 どのような考え方にに基づき確率や微積分が日常生活で使用されているのかを、EXCEL を用いて具体的に理解させる 3 ZOOM を用いて、実践的な理解の深化を図る。			
評価方法			
テストの結果と出席率、授業態度、提出物全ての項目を評価に含めた総合評価とする。			

授業計画・内容	
1～4	【 集合・順列・組合せ 】 1 場合の数、集合{部分集合、補集合、共通部分、和集合等} の理解を深める 2 集合・補集合の要素の個数、和の法則と積の法則の理解を深める 3 順列・順列の応用・重複順列・円順列の理解を深める 4 組合せ・組合せの性質・組合せの応用の理解を深める
5～7	【 確率 】 5 確率の意味を理解し確率の計算を行う 6 確率の加法定理・余事象の確率を理解し確率を求める 7 独立な試行の確率・反復試行の確率、及び、独立・従属の関係を理解し、条件付き確率を求める
8	8 中間まとめ
9～12	【 微分 】 9 ガイダンス 微分の直感的理解を図り、具体的に、導関数、微分係数を求める 10 接線の意味を理解し、接線の式を求める 11 関数の増加・減少と微分係数の値の変化との関連を理解する。 12 関数のグラフのイメージを持つことができるようにする。
13～15	【 積分 】 13 積分の意味の直感的な理解を図るとともに、関数の不定積分の式を求める。 14 関数の定積分の意味を理解し、定積分の値を求める 15 定積分により面積や体積が求められることを理解し、面積の値を求める
16	まとめ・期末試験
教科書・参考書・資料・参考文献	
随時配布プリント、スライドショー、excel	

科目名	体育	担当教員	小林 礼
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（16週）、後期（20週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）、後期40時間（週1コマ） 総72時間		
授業概要・学習到達目標			
運動することの楽しさや喜びを味わうとともに、生涯にわたる豊かなスポーツライフ「する。見る。支える。知る」を実現する能力を育成するとともに、スポーツに関する課題を発見し、その解決を図る主体性・協働的な学びを通して、公正・責任・安全・判断・人間性等を育成する。			
評価方法			
出席（50%）授業態度（40%）試験（10%）			

授業計画・内容			
【前期】		【後期】	
1	オリエンテーション	1	体づくり運動⑥ 体力を高める運動 長縄跳び・短縄跳び
2	体づくり運動① 体ほぐし運動	2	体づくり運動⑦ 体力を高める運動 長縄跳び・短縄跳び
3	体づくり運動② 体力を高める運動 縄跳び	3	体づくり運動⑧ スケート
4	体づくり運動③ 体力を高める運動 登山	4	体づくり運動⑨ スケート
5	器械体操 マット運動	5	体づくり運動⑩ スケート
6-9	球技 ①～③ネット型 バレーボール	6	まとめ
10-12	球技 ①～③ゴール型 バスケットボール	7	実技試験
13-15	球技 ネット型 バトミントン		
16	実技試験		
教科書・参考書・資料・参考文献			
使用しない			

科目名	論文作成（前・後期）	担当教員	倉田 有佳
学 科	ロシア地域学科	学 年	第3学年
開講期	前期（16週）・後期（20週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）、後期28時間（週2コマ） 総60時間		
授業概要・学習到達目標			
卒業論文作成を最終目標とし、それに向けて、問題設定・課題の解決方法を学び、論理的思考に基づき論文を完成させる。論文執筆の過程で、資料収集方法、課題解決能力やプレゼンテーション能力を身に付ける。			
学習上の留意点			
序論・本文・註・参考文献の作成といった、論文の基礎を学び実践し、卒業論文作成に必要な事項をすべて身につけておく。			
評価方法			
出席（20%）授業態度（20%）提出物（60%）			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス（各自学年論文持参）、学年論文テーマの検討
2	学年論文テーマの検討、参考文献の調査
3	学年論文テーマの検討、参考文献の調査
4	先行研究の調査、文献目録の作成について（ガイダンス）
5	文献目録作成
6	学年論文テーマ決定、提出
7	目次作成について（ガイダンスと実践）
8	章立てについて（ガイダンスと実践）
9	章立ての検討
10	序論作成について（ガイダンスと実践）
11	本論作成について（ガイダンスと実践）
12	脚注の作成について（ガイダンスと実践）
13	指導教官に現時点での進捗状況報告
14	論文執筆
15	論文執筆、中間発表の準備
16	ザチャット週間（中間発表）
【後期】	
1	学年論文執筆
2	学年論文執筆、授業終了後に指導教官に論文提出
3	学年論文執筆（指導教官から指摘を受けた点を訂正・加筆）
4	学年論文完成
5	学年論文最終チェック
6	学年論文発表会（ザチャット週間最終日）に向け模擬発表、授業終了後に指導教官と事務局に論文提出
7	ザチャット週間最終日 学内での学年論文発表会
教科書・参考書・資料・参考文献	
ガイドブック、参考図書や論文など、論文指導の中で適宜紹介する。	